

の財政を えてみると

てはめてみます。
使い道も規模も違うため、単純に比べられ
普通会計の平成18年度決算約98億円を年間

■町民1人当たりの歳出

区 分	金 額	構成比
公債費	17万9,258円	19.7%
総務費	14万 696円	15.5%
民生費	13万 950円	14.4%
教育費	12万2,131円	13.4%
衛生費	9万2,190円	10.2%
土木費	9万1,235円	10.0%
農林水産業費	6万9,449円	7.6%
消防費	5万8,176円	6.4%
議会費	1万2,383円	1.4%
商工費	1万2,050円	1.3%
労働費	532円	0.1%
合 計	90万9,050円	100.0%

支 出

生活費
259万円

食費 職員の給料、手当などの人件費	93万円 18.6% (103万円) (18.5%)
家族の医療費 医療助成費、障がいのある方への支援などの扶助費	20万円 4.0% (21万円) (3.8%)
光熱水費など雑費 消耗品費や光熱水費などの物件費、補助金 や負担金などの補助費	134万円 26.8% (183万円) (32.8%)
車や家具の修理代 公共施設の維持補修費	12万円 2.4% (13万円) (2.3%)
子どもたちへの仕送り 国民健康保険や簡易水道、公共下水道、介護保険 など他会計への繰出金	49万円 9.8% (48万円) (8.6%)
借金の返済 町債の返済費用（公債費）	98万円 19.6% (106万円) (19.0%)
家の増改築費 道路や河川の整備、公営住宅建設などの公共事業費	70万円 14.0% (73万円) (13.1%)
貯金 基金への積立金	16万円 3.2% (1万円) (0.1%)
雑費	8万円 1.6% (10万円) (1.8%)
合 計	500万円 100% (558万円) (100%)

光熱水費などはずいぶん節約したけど、借金返済の割合はまだまだ高いんだね。



そうなんだよ。
家族で稼いだお金（町税や使用料・手数料など）より生活費の方がかなり多いんだよ。それに親からの仕送り（国からの地方交付税、補助金など）は給料・パート収入よりもはるかに多いし、借金（町債）や預金取り崩しをしないと生活できない状態なんだよ。

■町民1人当たりの歳入

区分	金額	構成比
依存財源	75万2,391円	81.9%
地方交付税	52万5,636円	57.2%
地方債	12万3,330円	13.4%
地方譲与税など	3万8,074円	4.2%
国庫支出金	3万7,702円	4.1%
道支出金	2万7,649円	3.0%
自主財源	16万6,299円	18.1%
町税	6万3,460円	6.9%
繰入金	2万8,769円	3.1%
使用料・手数料	2万4,352円	2.7%
諸収入	2万 623円	2.2%
分担金・負担金	1万4,044円	1.5%
財産収入	8,674円	0.9%
繰越金	6,269円	0.7%
寄附金	108円	0.1%
合計	91万8,690円	100.0%

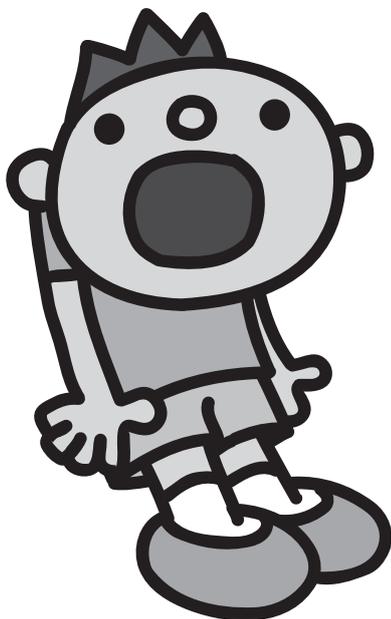
せたな町家計にたと

せたな町の財政を家庭の家計簿にあてはめると、家庭の家計と町の財政では、お金のないところもありますが、せたな町の500万円の家計に例えてみます。

あれっ!?

家族で稼いだお金より生活費の方がかなり多いんだね！それに親からの仕送りもすごいんだね！

家族で稼いだお金
72万円



収入

給料 町税（町民税・固定資産税・軽自動車税など）	35万円 7.0% (34万円) (6.1%)
パート収入 施設の使用料や手数料、財産収入など	37万円 7.4% (41万円) (7.4%)
親からの仕送り 国からの地方交付税、地方譲与税、補助金など	342万円 68.4% (364万円) (65.2%)
預金取り崩し 基金からの繰入金	16万円 3.2% (27万円) (4.8%)
前年からの繰り越し 前年度繰越金	3万円 0.6% (3万円) (0.5%)
借金 町債（公共施設を整備する際、国や銀行などから複数年にわたって借りるお金）	67万円 13.4% (89万円) (16.0%)
合計	500万円 100% (558万円) (100%)

※下段（ ）書きは、平成18年度決算額を年間500万円に例えた場合を基準とした平成17年度の数値です。